

YOUNG BLOOD

つながり ～JR 連合に集う仲間の輪をさらに広げよう～

発行責任者：JR連合 青年・女性委員会

議長：高杉 恭平

編集責任者：小林 優太郎

第36回定期大会で青女代表質疑

2026年6月17日、京都テルサにてJR連合第36回定期大会が開催され、青女代表質疑ではJR 東海ユニオンの菅間あさ希代議員が発言を行いました。

その後、高杉青年・女性委員会議長より大会宣言（案）が読み上げられ、満場一致で採択されました。



菅間代議員

1. 民主化闘争・組織拡大について

北労組支援ではJR7 単組の旗が一堂に並び、全国に仲間がいることを実感し、「一本のレールでつながる仲間」であることを象徴するものであった。

今後は各地方協議会青年・女性委員会の活動をさらに強化し、「JR連合しかできない」つながりと、北労組支援で得た知見を活かした組織拡大にむけて取り組んでいく。

箱根以东の民主化闘争をさらに前進させるためにも、引き続きのご支援をお願いします。

日本鉄道労働組合連合会（JR連合）



高杉議長

2. 青女活動について

青年女性役員研修会では、青女世代から注目度が高まっている「政治」について、より身近に捉えてもらう絶好の機会として国会見学を開催いただいた。衆議院解散と重なり議員との交流が厳しい中ではあったが、執行部の皆様のご尽力のもと、2名の議員との交流の場を設けて頂いたことに改めて感謝申し上げます。

第30回ユースラリーを5月に開催することができた。組織の垣根を越えた交流を深めることができた。

『一本のレールでつながる仲間』の輪を広げていくことは、青年・女性委員会の大きな役割であると考えている。

各種SNSを開設してます！
アクセスしてね♪

Instagram



facebook



X | Twitter

